

いくぶん



第25号 2020.8

今年度は新型コロナによりいつもとは違った春を迎えました。全国では学校や幼稚園が休校休園になるだけではなく、子育て支援センターやひろばもしばらくはお休みとなっていたと思います。家庭で親子だけで過ごす時間が長くなり、その時間を楽しみながらもセンターやひろばの早い再開を待っていた親子も多かったのではないのでしょうか。そのような中、子育て相談、発達相談、遊びの紹介、手作りおもちゃの作り方などのオンライン配信が増え、ネット環境さえ整っていれば誰でもいつでも視聴できるようになっています。今まで、何らかの事情で外に出づらかった親子にとっては、オンラインで必要な情報を得ることができ、満足して過ごされたかもしれません。新型コロナの影響により、子育て支援の方法の選択肢が一つ増えた気がします。今までであったものや行なってきたことを当たり前と捉えず、多くの親子にとって何が必要であるのかを広い視野で考えていきたいと思っています。

最後になりましたが、本年度より鷺見先生よりセンター長を引き継ぎました。力不足ではございますが、地域の保育・子育てに貢献できるセンターであるよう努力してまいりますので、引き続き、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

育児文化研究センター長 青木信子



カラダうれし

ココロたのし

自然とともに



ほかほかごはん、色鮮やかなうつわ、涼やかな音色、そして、ゆったりした時間と仲間との語り…。これらが生まれた始まりは、たった一本の竹。そこに道具や素材、人がかかわって豊かな空間が現れた。掲載した写真はその一部であるが、高田短大構内で、子ども学科教員数名が「竹ご飯」を作る活動を行った時のものだ。この活動につながった理由はいろいろあるが、まず挙げるとすると、三重県にある保育者養成校として特色ある教育を行いたいこと、そして、本研究センター研究員でもあられる河崎道夫先生が「保育者が自然の中での遊びを実践できることが今後さらに求められる」と常々提言されてきたことによる。令和2年2月には、子ども学科FD研修「野外(自然と文化)体験保育とこれからの保育者養成」を実施し、令和2年度から具体的に青写真を描き、船を漕ぎだそうとした。ところが新型コロナウイルスにより短大も大いに翻弄され思うように進んではいないが、そのような中、学生との実践活動を描いて行ったのが「竹ご飯」である。人間の生活が制限されているコロナ禍であるからこそ、屋外でマスクを外しカラダが開放され、竹からいろいろ創り出せることにココロが踊り、美味しいごはんを仲間とともにいただけることが幸せだった。大げさかもしれないが「人間」としてこの空間に居られることに「かけがえのなさ」を感じたのである。

このことを学生と一緒に、子どもたちと一緒に味わいたい!との想いを乗せて船を進めていきたい。

子ども学科長 福西朋子

おやこひろば たかたん

2年度



ママの笑顔は最高!

みんなでおはなし
楽しいな〜(*^*)

ぼくもわたしも
ピアニスト♪
お歌 だ〜い好き

短大のお姉さんと
一緒にお芋ほりしたよ!
美味しそう!

♪で〜んでんむ〜むし
か〜たつむり〜
か〜つむりに夢中!

2020年・10年目の節目を迎える「おやこひろば たかたん」ですが、今年度は、コロナウイルス感染拡大防止の為、桜が美しい季節にスタートができず残念でした。日頃ひろばを利用されている皆さんは、どのように過ごされているのかと思い巡らせています。

昨年度は「おやこひろば」を大学のゼミナール授業で活用し、学生が計画・実行した芋掘り活動、保健に関するたよりの作成と掲示、アンケートによる子育ての実態調査等、学生の貴重な学びの場となりました。

また「おやこひろば たかたん」で一緒に遊んだ友達と「もう一度会いたい」「遊びたい」という利用者の要望を受け、昨年度から祝日開催のホリデーひろばは、就園児でも4歳未満であれば参加できるようにしました。ひろばを巣立ち、就園した親子と利用者の再会の場となり、子どもの成長を喜び合う賑やかで懐かしいひと時となりました。

このひろばで出会えたみなさんとのつながりを大切に、これからは「みんなで子育て」の場として支援していきたいと思えます。

- ホリデーひろば** 今年度は下記のように2回、祝日開催の『ホリデーひろば』を行います。
- 🍃 日程：7月23日(木/祝) 11月23日(月/祝)
 - 🍃 時間：10時～12時
 - 🍃 対象：4歳未満の親子(就園児でも4歳未満であれば参加いただけます。)
 - 🍃 利用は無料です。(詳しくはホームページをご覧ください。)



子育て相談 10〜3月

地域への子育て支援事業として、育児に関する心配や不安を相談できる個別対応の「子育て相談」を予約制で行っています。担当は本学育児文化研究センター研究員です。相談日、申込はホームページをご覧ください。

相談内容	担当者	令和2年度 基本相談日
発達相談	千草篤鷹	第4月曜日 (1)14時
子どもの食	鷺見裕子	第3金曜日 (1)13時 (2)14時
子どもの健康	長倉里加	第2水曜日 (1)13時
教育	青木信子	第4金曜日 (1)13時

子育て講座 9〜2月

おやこひろば たかたんでは月1回「子育て講座」を開催しています。今年度後半も親子一緒に活動する講座と親子分離による講座を企画いたしました。詳しくはホームページをご覧ください。(※)親子分離の講座となります。

日時	テーマ	講師
9月17日(木)	消費税の正体を知ろう※	武藤 敦士
10月12日(月)	親子で楽しむ表現遊びと手品	稲田 直子
11月19日(木)	音を聴こう 音を感じよう	福西 朋子
12月14日(月)	おねえさんといっしょ	青木 信子
1月21日(木)	親子でリフレッシュ～体操、遊び体験～	榊原尉津子
2月15日(月)	子どもの心の育ちを支える※	山口 昌澄

たんたんクラブ



「たんたんクラブ」は、学生がひろばのお手伝いをしながら保育や子育て支援を学ぶ『おやこひろば応援サークル』です。昨年度のファミリーデーでは、親子が楽しめるような夏祭りの遊びを準備したり当日も一緒に遊んだりして、ひろばを盛り上げて活躍してくれました。2月には、劇を披露して親子を楽しませてくれました。ひろばでの親子の様子に実際に触れたり、行事の準備のための製作など学生の実践的な学びにつながっています。

今後も、おやこひろばの参加者に喜んでもらえるような内容を、学生が主体的に企画や実践を行い、学びのあるサークルにしていきたいと考えています。

県内各地で活動中!



子育て応援隊

本センターでは、学内にあるボランティア支援センターと連携を取りながら、学生たちが地域・子育て支援活動の体験ができる場を提供しています。2019年度は依頼件数が38件あり、子ども学科の学生が『子育て応援隊』として参加した人数は313名と前年度より30名ほど多い学生の参加がありました。体験後の活動報告書には、「自分自身の勉強になった。」「皆さんに喜んでいただき、人と関わることの素晴らしさを改めて感じることができた。」「授業や実習先で学ぶことができない親子の関わりを学ぶ良い機会となった。」等の記述が見られ、貴重な学びの場となっています。毎回参加した学生から届く活動紹介や写真は、本センターのホームページ【活動紹介】へ掲載しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。

8月24日
神納町
地蔵盆まつり



10月26日
げいのう
わんパーク



12月26日
彰見寺子供会
(もちつき大会)



みえこどもの城と高田短期大学 連携協定事業



2019年度も「みんなあつまれ!たかたんあそびひろば」を開催しました。開場前から多くの方に並んでいただき、会場は子ども達でいっぱいでした。学生がグループごとに企画した歌、劇、紙芝居や制作活動を多くの親子さんに楽しんでいただきました。



新入会研究員の紹介



4月より、高田短期大学子ども学科で勤務し、今年度より育児文化研究センター研究員として参加させていただくことになりました。今まで勤務してきた公立保育園や子育て支援センターで経験したことを、センターの研究員として生かせるよう努力してまいりたいと思います。今年度は、コロナの影響で通常ではない日々が余儀なくされています。このような時にも、子どもたちの笑顔や愛らしいしぐさを見ると心が温かくなります。

子育てで真最中の方々が、子育てを楽しんでワクワクできるようなお手伝いが出来たらうれしく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(古川久美子)



今年度より、キャリア支援センターでサポートとしてお世話になっております。4月早々に、「いくぶん」育児文化研究センター便りをいただきました。「おやこひろば たかたん」や「たんとんクラブ」等、学生の皆さんや子ども達、保護者の方々が、とてもキラキラと楽しく、真剣な表情に心が弾みました。私も本センター研究員の一人としてお誘いをいただきましたので、今までの公立幼稚園・保育園で務めた経験を活かし、活動のお手伝いができればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(里中久美子)

津市委託事業



子育てを地域で支えるために津市の子育て支援関係者のネットワークを広げ、連携を深める活動を行政と関係団体での協議を経て、平成24年度より高田短期大学育児文化研究センターが委託事業として運営を担ってきました。この8年間では前年度の振り返りと子育て環境の変化や課題をもとに目標を掲げ、表に示すように3つの事業を展開し多くの支援関係者、親子に参加いただきました。今年度も次のステップに向けて3事業を計画しておりましたが、コロナ感染症拡大防止からこれまでのような事業実施が難しくなっていました。そこで今年度はこれまでに培ったネットワークを活用し、感染症との共存の中での支援活動についての情報共有や、親子のふれあいによる愛着形成の大切さについて今一度学び合う事業を企画、実施いたします。

なお、平成27年度より委託事業として運営しております「子育てママのホットひろば事業」につきましては、感染症対策をとり下記のように開催を予定しております。

平成24～令和元年度の津市委託事業

	ひろば関係者交流事業	子育て支援者事業	親支援事業
	津市内子育て支援関係者・機関のネットワークを広げ、連携を深める取り組みの実施	子育て支援者を対象に親子の関わり支援について、親支援の援助技術を中心とした研修の実施	父親対象とした「養育力向上」の研修と、母親の「育児不安軽減とリラクゼーション」目的のママサロンの開催
実施回数	32回	16回	32回
参加者数	1205人	478人	579人

子育てママの「ホット」ひろば事業

子育て中のお母さん同士が、日ごろ思っていることを何でも話せる集まりです。臨床心理士である講師のサポートを通して実施しています。

会場：高田短期大学 講師：橋本景子

第1回 9月15日(火) 10:00～12:00

対象：未就園児保護者

第2回 11月24日(火) 10:00～12:00

対象：就学児保護者

第3回 2月11日(木) 10:00～12:00

対象：未就園児保護者

～第56回定例研究会～

第56回定例研究会を7月7日(火)に開催しました。榎原尉津子研究員より「すくすく子育てに見る養育者の関心事の変化～時代背景・乳幼児の事件・事故の視点から～」と題して、子育てへの不安や疑問の変化を育児番組内容から分析した調査報告がありました。専門性や経験をもとにした子育て状況への意見交換が行われました。



第57回定例研究会は10月29日(木)、
第58回定例研究会は2月8日(月)を予定しております。

センターへのお問い合わせ・アクセス

高田短期大学
育児文化研究センター

〒514-0115

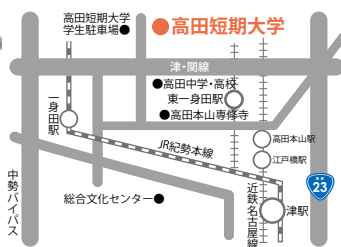
三重県津市一身田豊野195

TEL.(059)253-7020(センター直通)

(059)232-2310(代表)

FAX.(059)232-6317

Mail ikibun@takada-jc.ac.jp



～前期センター会議～

前期センター会議が5月13日(水)に開催予定でありましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためやむなく中止いたしました。事業報告、事業計画等の議事資料を送付させていただき、ご質問やご意見をお寄せいただく形にいたしました。今後もセンター運営・事業等でお気づきの点がございましたらお知らせください。

後期センター会議は12月4日(金)を予定しております。